

第2次茅野市地域創生総合戦略 数値目標・KPI管理シート

基本目標	No.	数値目標・KPI	算出方法	策定時実績値	単位	推移	目標値	目標値の根拠	実績値に対する各課の評価(R2)	担当課
						R2実績値				
全体	0-1	生産年齢人口比率	茅野市の将来人口推計(将来展望推計)における生産年齢人口比率	56.9	%	56.7	55.8	令和7年度に茅野市の将来人口推計(将来展望推計)55.4%を達成するため、生産年齢人口比率を割合により算出した。	実績値から目標値までの比率をもとに算出したR2年度の目標は56.7であり、目標を達成した。	企画課
基本目標1	1-1	市内観光地延利用者数	長野県観光地利用者統計調査	3,301,500	人	2,141,200	3,367,000	しあわせ信州創造プラン2.0における諏訪地域観光の目標は、5年間で2%増の成長目標を掲げていることから、この目標の達成を目指す。	コロナ禍の影響による観光客の減少となった。基準に対して35%の減少率であるが、全国平均の減少率48%(観光庁統計)と比較すると健闘していると考えられる。	観光課
	1-2	茅野市観光情報サイトアクセス数	茅野観光ナビ・ちの旅ホームページのアクセス件数	810,000	件	1,355,555	1,000,000	「100万アクセス」の大台に乗せることを目標に置く。	目標の大幅な達成となった。観光客数が減少する中で目標達成であり、状況が改善されれば更なる数値の向上が見込まれる。	観光課
	1-3	茅野市SNSリーチ件数	SNSを通じて市から発信された情報へのリーチ数	108,864	件	373,815	587,645	事務事業評価におけるSNSリーチ件数の目標値。	SNSツールの増加と新たにSNS市民特派員による投稿を始めたことで順調にリーチ数が増えている。今後は、各ツールを連携させて、更なるリーチ数の獲得を目指していきたい。	地域創生課
	1-4	蓼科エリア観光地利用者数	長野県観光地利用者統計における蓼科の利用者数	1,495,100	人	1,003,900	1,540,000	しあわせ信州創造プラン2.0における諏訪地域観光の目標は、5年間で2%増の成長目標を掲げていること、蓼科湖道の駅等の施設整備が完了することを踏まえ、この目標の達成を目指す。	コロナ禍の影響による観光客の減少となったが、基準に対する減少率としては33%であり、市内主要観光地における減少率と同程度の減少となっている。	観光課
	1-5	尖石縄文考古館来館者数	尖石縄文考古館への年間の来館者数	56,953	人	26,366	65,000	平成26年度来館者数は、仮面の女神が国宝指定となった年であり、突出して多い。平成26から31年度の間平均は58,682人。来館者の増をめざし企画展他事業を展開するも、人口減少の将来展望を踏まえて、理想目標としてこの数値を設定する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、4月、5月は休館となり、その後も来館者数は低調であった。	文化財課
	1-6	市内観光消費額	長野県観光地利用者統計調査	1,046,730	万円	686,644	1,067,600	しあわせ信州創造プラン2.0における諏訪地域観光の目標は、5年間で2%増の成長目標を掲げていることから、この目標の達成を目指す。	コロナ禍の影響により減少となった。基準に対する減少率としては34%であり、長野県内の観光利用者数の減少と同程度である。利用者数の状況が改善すれば、こちらも連動して改善する見込み。	観光課
基本目標2	2-1	「将来、茅野市に住みたい」と思う15歳から18歳の割合	茅野市在住者15歳～18歳向けアンケート結果において、「ずっと住みたい」、「一度は県外へ出ても、将来的に茅野市へ戻って住みたい」と回答した子どもの数	36.7	%	(36.8)	60	人口ビジョンの実績から年齢的に将来の居住地を決めかねている子どもを4割程度と見込み、残りの6割については、将来茅野市に戻ってきたいと思えるようなまちを目指す。	市民アンケート未実施のため、地域創生課(当時は地域戦略課)で実施した諏訪地域の高校10校の2年生を対象としたアンケート結果(数値)を代用 回答者:茅野市在住の高校生2年生261名 ずっと住みたい17人(6.5%)、将来的に住みたい79人(30.3%)	企画課
	2-2	コワーキングスペース売上額	コワーキングスペース年間売上額	7,476	千円	10,053	8,200	地方創生推進交付金KPI値。工業振興ビジョン管理指標値	令和元年度までの3年間、地方創生推進交付金を活用して行ってきた様々なPR活動や指定管理制度による民間活力を取り入れた運営により、新型コロナウイルス感染症で人の往來の制限を受ける中でも、売上額が順調に増加し、維持できているものと考えられる。	商工課
	2-3	別荘地の水道使用量	別荘地の水道使用量(蓼科、白樺湖、チエルトの森、三井の森)	262,925	m <sup>3</sup>	215,309	285,000	直近5年間(平成26年度から平成30年度)における使用量の伸び率を維持できた場合の令和6年度数値	新型コロナウイルス感染症の影響により減少となった。主要別荘地の利用者が基準比で約40%程度減少したため、水道使用量についても減少することとなった。	観光課

基本目標	No.	数値目標・KPI	算出方法	策定時実績値	単位	推移	目標値	目標値の根拠	実績値に対する各課の評価(R2)	担当課
						R2実績値				
基本目標2	2-4	CHUKOらんどチノチノ利用者数	CHUKOらんどチノチノ利用者数	13,909	人	2,898	17,000	第3次茅野市こども・家庭応援計画(どんぐりプラン)目標数値	令和元年度末までは、人口減少社会のさなか、チノチノの利用人数を増やすべく子どもたちが考えたイベントの開催などを行い、目標達成に努めてきた。令和2年度以降については、新型コロナウイルスの感染拡大によって、茅野市の中高生の生活様式に大きな変容があったとみられ、日々の来館者の減少が著しかった。現在はイベントの開催もままならず、中学生に対してのPR活動にも影響が出ている状況である。しかし、「子どもの居場所」としての施設であることから、悩み相談の件数などはこれまでと変わっていない。今は我慢の時と考えて今後の回復を目指していきたい。	こども課
	2-5	公立諏訪東京理科大学卒業生の市内創業・就業者数	公立諏訪東京理科大学卒業生の市内創業・就業者数	10	人	11	20	第1次茅野市地域創生総合戦略の目標値を継続	コワーキングスペースの利用に関し、公立諏訪東京理科大学との包括的な利用協定を結ぶなど、市内での創業・就業を促進する取組を進めているが、新型コロナウイルス感染症の影響もある中で、学生側に十分に情報発信ができなかったこと、また学生が希望する職種と市内事業者の受入ニーズとのミスマッチなども生じていると考えられる。	商工課
基本目標3	3-1	社会増減数	転入者数-転出者数	115 (5年累計)	人	未発表	510 (5年累計)	第2次茅野市人口ビジョン目標数値	現時点でR2年度分の統計数値が未発表(年内には発表の見込み)。	企画課
	3-2	設備投資促進支援件数	設備投資促進支援利用件数	23	件	33	24	第2次工業振興ビジョンの中小企業振興補助金(目標9件)、製造業等労働環境改善補助金(目標15件)の合算数値	産業振興プラザのコーディネーターの巡回に際し、補助金紹介を進めた結果として、中小企業において補助金を活用した労働環境改善や競争力強化のための設備投資が促進されたものと評価する。	商工課
	3-3	新規創業者数	制度融資開業資金・創業資金年間利用者数	19 (5年平均)	人	16	20 (5年平均)	茅野市創業支援等事業計画目標数値	目標値を下回っているものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を考慮すれば、悪条件の中で一定の成果があったものとする。	商工課
	3-4	市内製造業従業者数	工業統計調査数値	8,932	人	8,485	8,932	生産年齢人口の減少を産業の新陳代謝や、働く場所の確保支援により現状値を維持する	新型コロナウイルス感染症の感染拡大前から、米中貿易摩擦の影響によって一部業種においては受注減少による雇用調整が見受けられたこと、また、中小企業における新規採用の人材確保が困難となっていたことから、従業者数が減少したものと考えられる。	商工課
	3-5	市内事業所就業者数	経済センサス数値(※速報値含む)	25,435	人	25,020	25,435	生産年齢人口の減少を産業の新陳代謝や、働く場所の確保支援により現状値を維持する	人口全体の減少に伴い、生産年齢人口も減少しているもののその減少幅は比較的緩やかであり、一定の人の流れが確保できているものと考えられる。	商工課
	3-6	新規就農者数	諏訪地域振興局へ報告する就農者数	18 (5年累計)	人	8	25	5年間の平均就農者数=3.6人(18人÷5年)。H30から補助金等も新設されたことから5人/年を目指す。	若者の農業に関する関心の高まりと、移住に伴う新規就農への関心も高まりつつある。コロナ禍に伴う生活スタイルの変化を含め新規就農希望者の丁寧な対応を心掛け引き続き増加に努めたい。	農林課
	3-7	待機児童数	待機児童数	0	人	0	0	引き続き待機児童0を目指す。	少子化の中にあっても、育休明けの0.1歳児と、2歳児の入所希望が増加している。保育士の確保と、入所調整を行い、待機児童は出さないように努力している。	幼児教育課
	3-8	楽園信州ちの協議会を通じた移住・定住件数	協議会に報告があった移住者数	52(7)	件	69(46)人	52(20)	総数としてはH26年からH30年までの平均値を維持しながらも、より若者の移住者を増やすことを目指す。	若者(40代以下)の移住が増えている。オンライン相談の充実・市の魅力発信により若者の移住増を目指す。	地域創生課

基本目標	No.	数値目標・KPI	算出方法	策定時実績値	単位	推移	目標値	目標値の根拠	実績値に対する各課の評価(R2)	担当課
						R2実績値				
基本目標3	3-9	楽園信州ちの協議会の実施するツアーへの参加者数	協議会の実施するツアーへの参加実績	130(43)	人	0(0)	130(70)	総数としてはH26年からH30年までの平均値を維持しながらも、より若者の移住者を増やすことを目指す。	新型コロナウイルス感染症の影響によりツアーを開催することが出来なかった。	地域創生課
	3-10	住宅政策に係る支援を受けた移住・定住世帯数	住宅リフォーム促進事業、サンコーポラス旭ヶ丘の同居促進・活用事業、住宅団地販売促進事業による支援を受けた移住・定住者数	28(19)	世帯	36(18)	140(85)	リフォーム補助移住・定住加算:10世帯(5世帯)×5年=50世帯(25世帯) 住宅団地購入者:10区画(5区画)×5年=50世帯(25世帯) サンコーポラス同居移住者:空室25戸=25世帯(20世帯) +サンコーポラス退去定住者:3件(3件)×5年=15世帯(15世帯) 計 140世帯(85世帯)	目標値に対して、計画通りの実績が出ている。引き続き移住定住に向けた取組みを実施する。	都市計画課
基本目標4	4-1	合計特殊出生率	茅野市統計情報	1.6		未発表	1.7	第2次人口ビジョンより、平成27年(2015年)の合計特殊出生率1.6が、令和42年(2060年)にかけて合計特殊出生率2.07に上昇すると仮定(毎年0.01ずつ上昇)	現時点でR2年度分の統計数値が未発表(年内には発表の見込み)。	企画課
	4-2	人口千人当たりの婚姻件数	婚姻件数×千人/人口	5.8	件	未発表	7	第1次総合戦略の目標未達成のため、引き続き設定する(第1次の際の現状値が6。そこから1人上げる目標)	現時点でR2年度分の統計数値が未発表(年内には発表の見込み)。	企画課
	4-3	不妊・不育症治療助成件数	不妊・不育症治療助成件数	38	件	63	90	より多くの夫婦に治療を受ける機会が持てるように、現状値の2倍以上の助成を行う(当初85件であったが、令和2年3月26日現在で85件を達成。若干上方修正し、維持する目標とする)	昨年度に比べ少し減少したが、一昨年に比べると増加している。来年度以降、不妊治療が医療保険の適応となる可能性が高く、国の動向を注視しながら今後の制度設計を検討していく。	健康づくり推進課
	4-4	育てにくさを感じたとき対処できる親の割合	対処できる親の数/育てにくさを感じている親の数(%)	77.2	%	77.8	85	国のすこやか親子21と同じ増加率を目指す	昨年に比べ増加している。今後も個別の事例に沿って丁寧に対応していく。	健康づくり推進課
	4-5	相談解決の割合	相談終了数÷相談件数(%)	100	%	100	100	引き続き100%を維持する。	相談内容を確認しながら関係機関と連携した支援を実施している。アセスメントを行い、支援目標を明確にし、それぞれの機関と役割分担をし、支援の進捗状況を確認しながら進行管理を行うことで支援放置、重大案件への防止に努めている。また、子どもや保護者との面談を行いながら必要なサービスにつなげることで養育負担の軽減につなげるなど環境整備を行っている。	こども課
	4-6	こどもと家庭の支援、応援の充実の満足度	茅野市市民アンケート「こどもと家庭の支援、応援の充実」の設問における満足度平均点	3.24		未発表	4	【市民アンケート】該当の設問の満足度平均点で4(ほぼ満足)の数値を目指す	現時点でR2年度の市民アンケートを未実施。実施時期については未定	企画課
基本目標5	5-1	茅野市の行政サービス全般に対し不満を感じている人の割合	茅野市市民アンケート「茅野市の行政サービス全般について、どの程度満足していますか。」の設問における、やや不満である、不満であると回答した人の割合	11.1	%	未発表	0	【市民アンケート】行政サービスに不満を感じる市民がいないことを目指す	現時点でR2年度の市民アンケートを未実施。実施時期については未定	企画課

※( )内は、15歳以上45歳未満の数値

担当課  
企画部企画課